

平和の尊さ

喜名小学校

六年三組

比嘉

花菜

「平和って何？」

そう聞かれて、すぐに答えられる人は、少ないと思います。私も、すぐには答えられません。

「なぜだろう？」

「戦争って何？」

と聞かれたら、すぐ答えられるのに。たまたまおばあちゃんか、こう言います。

喜名小学校

「今は、平和でいいね。」

その言葉を思いだし、ピンときました。

「そっか、今は平和なんだ、でもこれって、当たりまえのことじゃない。もしがして、平和が当たりまえすぎて、平和って何？」

と聞かれても、すぐに答えられないのかもと思いました。

私が思う平和は、みんなが平等で、自由で笑顔がある、そんな環境で生きていけるといふことが平和で幸せだと思います。

私達が、今生きている国は、平和が当たり前  
前だけど、世界には、戦争や紛争、内戦にま  
きこまれて、たくさんの人々が亡くなってい  
くそうです。そういう国、地域では、平和は  
夢のようなものかもしれませぬ。

前、内戦がおこっている国の子ども達の写  
真を本で見ても、おどろきました。なぜかとい  
うと、どの写真の子ども達も、明るく、むじ  
やきな笑顔だったからです。なぜ、親、友達  
兄弟を亡くしても、そんなに笑っているられる

喜名小学校

か、そう疑問をいただいていた時、ある少年の  
言葉が目に入りました。

「泣いたって、何もかわらない。」

その言葉を見て、

「ああ、強いんだな。」

という気持ちと、つらく悲しいけど、前むき  
に生きていることに対して感動しました。こ  
んな環境で生きている人は、

「平和って何？」

と聞かれた時、すぐに答えられると思います。

みんなが平和な世の中をつくるには、一人  
一人が命の大切さを知ることだと思います。  
そうしたら、戦争なんて絶対おこりません。  
だから、戦争という悲劇とむきあい、平和、  
命の尊さを知ることが大切だと思います。  
与えられた命に感謝して、一日、一日を大  
切に生きよう。

喜名小学校